

平成20年度KUCA共同利用研究の公募について

京都大学原子炉実験所

公 募 要 項

京都大学原子炉実験所では、原子炉による実験及びこれに関連する研究を推進するため、以下のとおり全国の大学、国公立研究機関の研究者による共同利用研究を受け入れています。

1. 公募事項

- (1) 臨界集合体実験装置共同利用研究・・・・・・・・・・今回公募（平成20年 1月11日〆切）
- (2) 共同利用研究(KURを利用するものを除く)・公募中（平成19年11月16日〆切）
- (3) 中性子捕捉療法共同利用研究・・・・・・・・・・ // （ // ）
- (4) 研究会(ワークショップ・専門研究会)・・・・・・ // （ // ）

2. 応募について

臨界集合体実験装置（以下「KUCA」という。）共同利用研究の公募は年1回とし、実験は1年間を単位として行います。（1年を通じてマシンタイムの割当が確保されます。）今回の公募締切後に新たなテーマがでてくるなど、特に希望する場合は、下半期だけの申請も受け付けます。その実施は下半期（10月～3月）の半年間になります。ただし、下半期だけの公募通知は行いませんので、提出期限にはご注意ください。

3. 研究課題

原則としてKUCAによる実験及びこれに関連する研究であり、関連する研究には、加速器を利用する実験も含まれます。

◎KUCAによる実験の架台別テーマ

A架台：トリウム又は天然ウラン等を含む固体減速炉心実験

B架台：同上

C架台：軽水減速炉心実験

4. 公募区分

共同利用研究には「一般研究」と「共同研究」とがあり、審査はこの区分により行われます。ただし、一般研究でグループのメンバー全員が原子炉実験所における利用経験の無い場合等、必要に応じて「打合せ」のみの採択（原則として上半期実施）とされることがあります。「打合せ」採択された方は、下半期共同利用研究の申請が可能です。

(1) 一般研究

所員以外の研究者（以下「共同利用研究者」という。）のみによって行われる研究の形態で、1つの研究機関だけに限らず複数の機関からメンバーを集め、研究グループをつくり研究を行うことも可能です。

(2) 共同研究

共同利用研究者と所員とが共同で計画し、協力して行う研究です。この場合、研究協力者に所員を含めてください。新しい炉心を用いる場合、複雑かつ大規模な実験の場合は、出来るだけ所員と共同で行う「共同研究」として申請してください。

なお、KUCAでは12年度から原子炉実験所の将来計画に関連してA架台と付設加速器を組み合わせた加速器駆動未臨界炉実験を行っています。今年度もこの実験を「KUCA指定実験テーマ」として扱いますので、これに関する実験に参加することを希望される方は三澤 毅 KUCA 主任技術者（「9. 実験テーマなどに関する打合せ先」の「電話番号とファックス番号」参照）にご連絡ください。

5. 申込資格

大学及び国・公立研究機関の教員、研究者、並びにこれに準ずる正規の職員

6. 申込方法

所定の申請書等(様式Ⅰ～Ⅴ、別紙様式1、2、3)に、必要事項を記入し、PDF ファイルで電子メール(アドレス: kyodo2312@rri.kyoto-u.ac.jp) に添付して提出してください。

申請書等の様式のダウンロード先

<http://www.rri.kyoto-u.ac.jp/JRS/kobo/kobo.htm>

お願い: 申請事務の簡素・合理化を図るため、①所属長からの送り状、②各書式の押印(申請者印、研究協力者・研究補助者承諾印、所属長及び研究科長の公印)を廃止、省略し、PDFファイルによる電子メール送信で受け付けます。このため、これらの簡素化された事柄に関して、申請者等の所属機関内部で必要とされる手続き等については、申請者側で遺漏無きよう行ってください。

7. 申込期限

平成20年1月11日(金) 必着

(下半期だけの公募通知は改めて行いません。)

下半期のみ申込期限は平成20年7月18日(金) 必着)

8. 本件公募に関する照会先

京都大学原子炉実験所総務課共同利用掛

TEL: (072) 451-2312

FAX: (072) 451-2600

E-mail: kyodo2312@rri.kyoto-u.ac.jp

9. 実験テーマなどに関する打合せ先

KUCAによる実験及びこれに関する研究を希望される方は、必ず以下に記載したCA部員と連絡を取り、所内担当責任者を定めて実験テーマなどに関する打合せを行ってください。

○電話番号とファックス番号

三澤 毅: TEL072-451-2376 FAX072-451-2603

宇根崎博信: TEL072-451-2361 //

市原千博: TEL072-451-2364 //

卞 哲浩: TEL072-451-2356 //

10. 選考

(1)申請された研究課題の採否は、研究歴、研究計画及び実験所内の諸条件を検討審査のうえ決定されます。これらの審査は京都大学原子炉実験所運営委員会が定めた基準に基づきKUCA共同利用研究委員会(以下「CA委員会」という。)が行います。

(2)実験設備の使用期間、旅費及び研究に要する消耗品費の査定についてもCA委員会が行います。

(3)CA委員会は、申請に対し必要に応じて研究計画を整理、統合、調整することがあります。なお、申請者において旅費が支給されない場合でも実験が可能であれば、旅費不給として採択されることがあります。(申請書様式IIIのG欄にその旨記入のこと。)

(4)採否の決定は平成20年2月下旬、各申請者あてに通知いたします。(下半期申請の場合は平成20年8月下旬)

11. 旅費の支給 本実験所の支給規定により、予算の範囲内で支給します。

12. 宿泊施設 研究員宿泊所を利用できます。

13. 注意事項・その他

- (1) 研究計画に参加する研究者のうち、実際に放射線を取り扱う者は、その所属する機関において法令で定める放射線業務従事者として登録・管理され、必要な健康診断などを受けている者でなければなりません。放射線業務従事者証明書は当該年度の4月以降、最初の来所時まで提出してください。この件については申請者が責任をもって対処してください。
- (2) 炉心に用いる核燃料物質（いわゆる原子炉用核燃料）以外の核燃料物質（いわゆる実験用核燃料）を使用する研究についても申請を受け付けますが、原子炉実験所が安全規制当局から承認を受けている範囲内に限られますので、相当な制限があります。承認範囲外の実験用核燃料物質を使用する研究は、原則として採択されないことを、あらかじめご了承ください。承認の範囲を超えた実験用核燃料物質などの使用計画がある場合は、「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」に基づく使用変更承認申請に必要な資料を提出してください。なお、使用承認が得られた研究が実施可能になるまでには、相当な日数を要することをご了承ください。
- (3) 共同利用研究において毒物及び劇物取締法に定める毒物又は劇物を取り扱おうとする者は、取り扱う前に所内連絡者を通じ原子炉実験所毒劇物管理責任者の取扱い許可を得てください。
- (4) 採択された研究に参加する研究者は、実験研究に当り、原子力規制関係法令のほか、京都大学原子炉実験所原子炉施設保安規定、京都大学原子炉実験所放射線障害予防規程、京都大学原子炉実験所実験用核燃料取扱要項、京都大学原子炉実験所核燃料物質計量管理規定などの規定並びに京都大学毒物及び劇物管理規程に従い、常に安全の確保に努めなければなりません。（必要な教育訓練を受けること、実験の制限などを含みます。）
- (5) 当実験所では上記の保安教育を実施しております。
ただし、KUCA棟のみの実験の場合は、次項(6)に示すKUCA保安教育を受講すれば参加できます。
- (6) KUCAの運転は通常、毎週火・水・木・金曜日の4日間行います。原則として、9：30に起動前点検を開始し、17：00に終了します。それに先立ち、KUCA保安教育及び実験打合せ会を月曜日の午後に行います。また、金曜日の午後の実験結果の報告会を開きます。このKUCA保安教育は実験参加者全員が少なくとも1年に1回受ける必要があります。
- (7) 共同利用研究者は、予算の執行、研究の実施、設備の利用などについて、採択後に所内担当責任者と十分に連絡を取り、かつ関係する責任者の指示に従わなければなりません。

14. 実施報告書等

- (1) 原子炉実験所における研究成果は、公開を原則としています。共同利用研究を終了したときは、所長あてに英文共同利用報告書を翌年の5月末までに提出してください。この報告書を提出されていない方は、次々回以後の共同利用研究は審査の対象としませんので、注意してください。（執筆要領は共同利用掛のホームページを参照してください。）
- (2) 共同利用研究に関連した論文又は、出版物を公表した場合は、「論文題目、著者名、所属、雑誌名、巻、号、出版年、ページ」のリストを電子メールに添付して送ってください。
- (3) 論文を発表する場合は、「京都大学原子炉実験所共同利用研究」によることを明記してください。英文の場合には、次のような例文が考えられます。
脚注か Acknowledgement など適当なところに明記してください。

- This work has been carried out in part under the Visiting Researcher's Program of the Research Reactor Institute, Kyoto University.
- This work has been performed at the Research Reactor Institute, Kyoto University.
- This work has been performed by using facilities of the Research Reactor Institute, Kyoto University.